

Kampinuye 27 (Arwampe ikasma hot) どの様に、何故

カンピヌイエ アラワンペ イカシマ ホツ — 疑問詞を使った疑問文(4)



例文

1. A: 秋 anakne an=utari iposse ani nekon a=ye yak pirka?
 アナクネ アヌタリイポッセ アニ ネコン アイエ ヤク ピリカ
 (秋はアイヌ語で どう言ったら良いの?)
- B: Cuk . Cuk yak a=ye .
 チュク チュク ヤカイエ (チュク。チュクつて言う。)
- A: チュク . (チュク。)
- B: チュク somo ne . Cuk . Tampe neno ye ya!
 ソモ ネ チュク タンベ ネノ イエ ヤー
 (チュクじゃない。チュク。この様に言いなさい。)
- A: Cuk . (チュク。)
- B: Pirka wa!
 ピリカ ワ (良いよ。)
2. B: An=utari iposse nekon e=ekampinuye ruwe?
 アヌタリイポッセ ネコン エエカンピヌイエ ルウエ (アイヌ語をどうやって勉強してるんだい?)
- A: 愛ちゃん neno アイヌ語教室 ekota ku=oman wa
 ネノ エコタ クオマヌワ (愛ちゃんのようにアイヌ語教室に行つて)
- utatturano arikikino ci=ekampinuye .
 ウタッドラノ アリキキノ チエカンピヌイエ みんなで一生懸命にそれを勉強してる。)
- : Ene ku=iki hi neno tanto ka itak
 エネ クイキ イ ネノ タント カ イタク (いつもの様に今日も言葉を)
- poronno ku=nuye wa ku=eraman rusuy wa .
 ポロンノ クヌイエ ワ クエラマン ルスイ ワ 沢山書いて覚えたいな。)
- B: Nepkusu e=nuye? Eciki neno iki ya!
 ネプクス エヌイエ エチキ ネノ イキ ヤー (何故 書くんた? そんな風にしちゃ駄目だよ。)
- : A=ye p pirkano kokanu wa eraman pe ne na .
 アイエブ ピリカノ コカヌ ワ エラマン ペ ネ ナー (人の言う事にしっかり耳を傾けて覚えるものだよ。)
- A: E!
 エー (はい。)



単語

| アイヌ語 | 品詞 | 日本語訳 |
|------------|-----|----------------|
| arikikino | 副詞 | 一生懸命に、頑張って |
| cuk | 名詞 | 秋 |
| ekampinuye | 他動詞 | ～を勉強する |
| ene | 副詞 | この様に、その様に、あの様に |

| アイヌ語 | 品詞 | 日本語訳 |
|------------|--------|---------|
| eraman | 他動詞 | ～を覚える |
| iki | 自動詞 | する |
| kokanu | 他動詞 | ～に耳を傾ける |
| nekon | 副詞:疑問詞 | どの様に |
| nenno | 後置副詞 | ～の様に |
| nepkusu | 副詞:疑問詞 | 何故 |
| nuye | 他動詞 | ～を書く |
| utatturano | 副詞 | 皆で |



今日の学習

1. nekon と neno について
- nekon は「どの様に」、「どう」という意味の動作や状態を具体的に尋ねるための疑問詞です。答えは通常、副詞(後置副詞、副詞句) + 動詞 あるいは 副詞や動詞などの単体で具体的に なされます。その際に聞き手に対し直接示せるものについては tampe 「これ」などの 指示代名詞 + neno + 動詞 の形が用いられます。例えば、「Nekon ku=ye yak pirka ?」 「私はどう言ったら良いでしょう。」という問いに対して、例文中の「Tampe neno ye ya !」 「こんな風に言いなさい。」の様に答えることができます。また、一度話題にあがるかして、話し手と聞き手双方に了解できるものについては、nenno + 動詞 「その様に～する、その様に～である」の形が用いられます。これらの用法の他に neno は何かとの類似を示して多用されます。※注 例文の「愛ちゃん neno」「愛ちゃんのように」がそれに当たります。後置副詞と共に用いられるのは人称接辞の目的格である事はテキストVol. 2のkampinuye 20 今日の学習 1 で学びました。それに従えば「私のように」と言いたかったら「en=nenno」となりそうなものですが、実際には「kuani neno」の様に、必ず人称代名詞が用いられます。このように「私」、「あなた」などという一人称、二人称に関して neno と共に用いられるのは人称代名詞である事に注意して下さい。 ※注 「aynu neno an aynu」「立派な人間」という現在有名なフレーズがありますが、石狩方言では、「似非人間」とか「人非人」と悪く理解されてしまうことがあります。もし、「立派な人間になれ」と石狩方言で言いたければ、「Aynu ne !」と言うだけで良いのです。
2. ene について
- 「その様に」とも訳されるため、日本語で考えて話すと、先に説明した neno と混同してしまいがちですが、nenno が「～の様に」という意味の後置副詞であり、名詞や代名詞を目的語とするのに対し ene は副詞ですから目的語をとりません。また、先に述べた様に「その様に」の意味で neno を用いる場合、「その」に該当する情報を話し手と聞き手が了解している事が前提ですが、ene は話し手が了解していれば、聞き手の了解は問いません。日本語でもまだ相手に詳細を語らず、頭にあるイメージをとりあえず「その様にしたんだ」などと言う時の「その様に」と同じです。こういう場合、相手は「その」が理解できないので「どうしたんだ」と聞き返す事になりますが、必ずしもこういった不完全な叙述の中のみ現れるだけではありません。これから話す事について前振りとして「この様に、その様に、あの様に」という意味で ene が用いられ、その後「この、その、あの」に該当する具体的な内容が語られていくのです。例文中の「Ene ku=iki hi neno tanto ka itak poronno ku=nuye wa ku=eraman rusuy wa .」という文で ene が用いられていますが、「Ene ku=iki hi neno …」「この様に私がする事の様に…」と言われても、相手がどの様にしているか分からない人もいます。しかし、後続の文からこの場合の ene が itak poronno ku=nuye wa ku=eraman を指す事を聞き手も理解できます。この ene + 動詞 + hi neno は「いつも～する様に」、「いつもの様に」と和訳され、ene は訳されません。ene はこの様に慣用表現中に多用され、意味も訳さなかったり、文脈上「この様に」、「その様に」、「あの様に」の他、「どう」などと訳される事があります。
3. nepkusu について
- 「何」を意味する nep と「(原因)の故に」、「(目的)のために」を意味する kusu が結びついたもので、「何故」、「何のために」を意味します。



もっと知りたい

例文中では、「書いてはいけない」と教えられています。アイヌ語を母語として育った世代はよくそう教えました。今や文字をなくして生活する事は考えられません。しかし、後でじっくり調べるつもりでメモしたまま、忘れてしまう事がどれ程あるでしょう。録音という行為も同じで、録音した資料を後でしっかり調べるつもりで山積みしたままになり、いざ調べる時、不明な点を尋ねようにも語り手は故人になってしまっている… そんな資料が少なくありません。先の教えの核心は書く行為を禁止しているのではなく、聞けるのはその場限りと思ってしっかり人の言う事を聞き、疑問があればその場で解決しろという事です。

Kampinuye 28 (Tupesampe ikasma hot) どの様な、どの カンピヌイエ トペサンベ イカシマ ホツ — 疑問詞を使った疑問文(5)



例文

1. A: Tan mise otta usa cimip usa uspe
タン ミセ オッタ ウサ チミブ ウサ ウシベ (この店には着る物やら履く物やら
pirkap poronno an yak a=ye.
ピリカブ ポロンノ アン ヤカイエ 良い物が沢山あるって。)

B: Teyne inkar! Tan cimip sonno ku=erasasuy wa.
ティネ インカラ タン チミブ ソンノ クエラマスィ ワ (こっち見て。この服とってもいいわ。)
: Nekonon burawsu e=erasasuy?
ネコナン ブラウス エエラマスィ (あんたどういったブラウスがいい?)

A: Tan retar pe ku=erasasuy ... korka tampe atayeyupke kasuy wa
タン レタラペ クエラマスィ コロカ タンペ アタイエユブケ カスィ ワ
ku=hok easkay pe isam.
クホク エアシカイペ イサム (私この白いのがいい...けれど高すぎて
買えるのないね。)

B: Inunukaski!
イヌヌカシキ (残念ね。)

2. A: Um, kuani anak tan siwnin pe newa hure p ku=erasasuy.
ウム クアニ アナク タン シウニンペ ネワ フレブ クエラマスィ
(うーん、私はこの青いのと赤いのがいいな。)

: Nean pe pirka?
ネアンペ ピリカ (どっちが良いかな?)

B: Nean pe ne yakka wenko an korka emosmaan pe e=pa yak pirka.
ネアンペ ネヤッカ ウェンコアン コロカ エモシマアンペ エパ ヤク ピリカ
(どっちもとっても良いけれど、それらと別なの見つけたら。)

A: A? Nekonon ta?
アー ネーコンダ (えーっ。何だって?)

B: Taampe pon kasuy!
タアンペ ポン カスィ (それらは小さすぎ。)



単語

| アイヌ語 | 品詞 | 日本語訳 |
|------------|--------|---------------------------|
| burawsu | ブラウス | 名詞 (新語) ブラウス (注:日本語からの借用) |
| emosmaan | エモシマアン | 連体詞 ~の他の |
| erasasuy | エラマスィ | 他動詞 ~を気に入る、~を欲しいと思う |
| inunukaski | イヌヌカシキ | 間投詞 かわいそうに |
| kasuy | カスィ | 助動詞 ~ (し) すぎる |
| mise | ミセ | 名詞 (新語) 店 (注:日本語からの借用) |
| nean | ネアン | 連体詞:疑問詞 どの |

| アイヌ語 | 品詞 | 日本語訳 |
|------------|-------|--|
| nekonon | ネコナン | 連体詞:疑問詞 どの様な |
| nekonon ta | ネコンダ | 間投詞 (相手の発言が聞き取れなかったりして、もう一度言ってもらいたいなどの) 何だ |
| ne yakka | ネ・ヤッカ | 他動詞+接続助詞 ~でも |
| pa | パ | 他動詞 ~を見つける |
| pon | ボン | 自動詞 小さくなる、小さい |
| teyne | ティネ | 副詞 こちらへ |
| usa | ウサ | 連体詞 ~やら、いろいろな~ |
| uspe | ウシベ | 名詞 (靴などの) 履物 |
| wenko | ウェンコ | 副詞 とても良く |



今日の学習

1. nekonon と nean について

nekonon は「どの様な」、nean は「どの」という意味で、“nekonon burawsu” 「どの様なブラウス」のように名詞 や “nean pe” 「どちらの物」のように形式名詞と共に用いられます。

尚、nean は石狩方言中の旭川方言で用いられた形で、空知方言では他方言に見られる inan が用いられる他、雅語表現中に inki (帯広方言、美幌方言などで inkian) が用いられました。

2. wenko について

接尾辞 ko は状態、性質を表わす自動詞に付いて、その自動詞の反対の意味を強めた副詞、間投詞を形成します。

つまり、例文の wenko は wen が「悪い」という意味ですから、その反対の意味の副詞は「良く」であり、更にそれを強める訳ですから「とても良く」という意味になります。

この ko が付くものとして、石狩方言では他に hankeko 「随分遠くに」、ponko 「とても大きく」、setakko 「随分長い間」がありますが、なぜかこれらの対義語として想定される pirkako、tuymako、poroko、ohorko はありません。※注

※注コミュニティ内の要請により、今後は先の表現も認める事にしました。



もっと知りたい

色彩に関する表現について

| アイヌ語 | 品詞 | 日本語訳 |
|--------|------|-------------------------|
| hure | フレ | 自動詞 赤くなる、赤い |
| kunne | クンネ | 自動詞 黒くなる、黒い |
| retar | レタラ | 自動詞 白くなる、白い |
| siwnin | シウニン | 自動詞 青、緑、黄色になる、青、緑、黄色である |

アイヌ語で色を表わす言葉は基本的に上に挙げた四つだけです。

特に、hure は赤味を帯びた色全体を指し、また、siwnin は青味を帯びた色から緑、黄色まで非常に幅広い範囲を指します。

石狩方言では、これらの他に ekurok 「真っ黒の」が確認される他、色合いが濃ければ kunne、薄ければ matek で表現したようですが、日常生活での色彩表現については記録がほとんどありません。

物語の表現としては、本来金属である konkani 「金」、sirokani 「銀」が konkani-otopi 「その金色の髪」、sirokani-tamanum 「銀色の玉粒」のように、それぞれ色彩を表わす語として用いられた事が知られています。この方式を用いれば atuy-cimip 「マリンプルーの服」のように「色を連想しやすい名詞+名詞」で「~色の~」という表現ができるものと思えますが、実際には先の言葉が「海・着物」で「水着」と理解されるかも知れません。現在の生活の中でアイヌ語を使うためには、今後ともいろいろ工夫が必要となります。

石狩方言では「色」に相当する言葉は確認されておらず、私は八雲方言の ipor を用いますが、沙流方言などに用いられる iro を用いても良いとしています。このように、石狩方言で足りない部分を他方言から借用したり、新しい言葉を作る作業を旭川親子アイヌ語教室を中心にすすめています。それはコミュニティの財産として子々孫々伝えていけるよう、年長者と年少者の承認と積極的な使用に支えられています。これらの成果については、そう遠くないうちに発表できると思います。

Kampinuye 29 (Sinepesampe ikasma hot) ～と言う

カンピヌイエ シネペサンペ イカシマ ホツ — **sekor と yak**



例文

1. A: Teeta matkor rusuy kur menoko ekota nekon ye p ne ya?
 テエタ マツコン ルスイ クル メノコ エコタ ネコン イエ ヲ ネ ヤ
 (昔妻を持ちたい人は女性にどう言ったんだろう?)
- B: “Ku=yaynu neno e=yaynu ru ka?”, sekor ku=kor maktahuci itak.
 クヤイヌ ネノ エヤイヌ ルカ セコロ クコロ マッタフチ イタク
 (「私が思ってるようにお前は考えてるか?」、と私のひい婆ちゃんが言った。)
- A: Hum, pirka itak ne na.
 フーム ピリカ イタク ネ ナ (ふーん、良い言葉だね。)
- B: Sonno pirka itak ne wa, sekor kuani ka ku=yaynu.
 ソンノ ピリカ イタク ネ ワ セコロ クアニ カ クヤイヌ
 (本当に良い言葉だわって 私も思う。)
2. A: Teeta an=utari nekon ukor ya pirkano e=eraman ruwe?
 テエタ アヌタリ ネコン ウコロ ヤ ピリカノ エエラマン ルウエ
 (昔、アイヌがどのように結婚したか良く知ってるの?)
- B: Ku=kor huci naa pon hi ta anakne an=utari ne yakka
 クコロ フチ ナア ポニタ アナクネ アヌタリ ネ ヤツカ
 (私の婆ちゃんがまだ小さい頃にはアイヌであっても
 sisam puri patek kor yak ye.
 シサム プリ パテク コロ ヤク イエ 和人の習慣だけ行ってたって。)
- : Neampekusku ku=erampetek ruwe ne wa.
 ネアンペクス クエランペテク ルウエ ネ ワ (それだから知らないのよ。)



単語

| アイヌ語 | | 品詞 | 日本語訳 |
|-------------|--------|------|-------------------------------|
| an=utari | アヌタリ | 名詞 | (アイヌ同士で用いて) アイヌ(注:わが同族、同胞の意味) |
| hi | ヒ | 形式名詞 | ～(する)時、 |
| kor | コロ | 他動詞 | ①～を持つ、②～と結婚する |
| matkor | マツコロ | 自動詞 | 妻を持つ、妻がある(注:「夫を持つ」は hokukor) |
| naa | ナア | 副詞 | まだ(注: na の形もある) |
| neampekusku | ネアンペクス | 副詞 | それだから |
| patek | パテク | 後置副詞 | ～だけ |
| puri | プリ | 名詞 | 行い、習慣、風習、風俗 |
| sekor | セコロ | 後置副詞 | ～と ※今日の学習1参照 |
| sisam | シサム | 名詞 | 和人 |
| teeta | テエタ | 名詞 | 以前、昔、かつて |
| ukor | ウコロ | 自動詞 | 結婚する |

| アイヌ語 | | 品詞 | 日本語訳 |
|-------|-----|------------|--------------|
| ya | ヤ | ①終助詞 ②接続助詞 | ～か |
| yak | ヤク | 接続助詞 | ～と ※今日の学習1参照 |
| yakka | ヤッカ | 接続助詞 | ～(だ)が、～(で)さえ |



今日の学習

1. sekor と yak について
 sekor は先行する文全体を受け、「～と」の意味で用いられる後置副詞です。
 通常、例文に見られるように誰かの発話や思考の内容を直接的に引用し、sekor の後に itak「言う」や yaynu「思う」などの動詞を含む文が続きます。
 (石狩方言では全体的にこの sekor が用いられる他、空知方言ではその代わりに ari が用いられる事があります)

例文1は

Ku=yaynu neno e=yaynu ru ka? が <ひい婆ちゃんの発話>
 Sonno pirka itak ne wa が <私の思考>
 となり、その内容をそのまま引用しているのです。

これに対して yak は同じく「～と」と訳されますが接続助詞です。
 誰かの発話を間接的に引用した動詞で終わる文の後にこの yak を用い、その後に ye「～を言う」という動詞を続けます。ye は一、二、三人称 何れかの人称形で用いる他、「特定しない誰か」の意味の人称接辞 an= と共に、kampinuye 27 の例文に出てきた Cuk yak a=ye.「Cuk って言う。」のように、一般的に誰もが口にする事柄や噂話を伝える時に用いる事ができます。

2. Ku=yaynu neno e=yaynu ru ka? について
 Kampinuye 27 の今日の学習1では、後置副詞 neno について学びましたが、この言葉の直前に用いられるのは名詞だけです。
 ところが今回の例文では ku=yaynu という動詞が使われています。これは本来 ku=yaynu hi という名詞句であったものです。ところが、h音がよく脱落する石狩方言では ku=yaynu i となり、さらに母音の連続を嫌うアイヌ語の発音の法則に従って、母音の一方が脱落したものです。このテキスト上の表記の原則に従えば ku=yaynu hi と標準化した語形をローマ字で記し、クヤイヌ とカナで発音を表記するべきですが、引用された文が決まり文句であるため例文のように表記しました。
 ところで、文末の ru ka は目下、門野トサ媪の資料にのみ幾つか確認されるだけです。この ka が日本語「か」と関係があるのかなど不明な点が多い表現です。



もっと知りたい

石狩川筋やその周辺地域で実際に行われたアイヌの伝統的な結婚については、不明な点が沢山あります。これは江戸時代に和人による理不尽な仕打ちによって、アイヌの生活が徹底的に破壊されたからとも考えられます。つまり、浜の漁場で男女を酷使するだけでは飽き足らず、女は未婚、既婚の別を問わず強姦され、妾として性の奴隷としたからです。

松浦武二郎は、ヲシヨロコツ(現在の石狩市厚田区押琴)の記事に「此処も番人等が土人等の妻を強奪するの癖は有之候。娘・子供等破瓜の頃にも相成候はゞ、必番人の為処女の時の契約も水の泡と成る。孤独の土人のみ多く成、胎妊する時は是を脱孕せしめける悪風甚かりしとかや。」と記しています。(高倉新一郎 校訂 秋葉実 解説、「丁巳東西蝦夷山川地理取調日誌 上」、北海道出版企画センター、p.422)

幸い物語の中には、結婚の様子が詳しく描写されています。それがどれだけ実際を反映しているのかわかりませんが、それに基づいてアイヌ式の結婚式が執り行われています。私も川村兼一氏のご好意により、旭川の川村カ子トアイヌ記念館でアイヌ式の結婚式を挙げました。式の流れは地方や人により異同があるでしょうが、その時は

- ① 祭司が火の神へ報告の kamuy nomi「お祈り」をする。
- ② 大盛りにしたご飯を最初夫となる者が半分食べ、妻となる者に渡し、妻となる者が残り半分を食べる。「大盛り」を sonapi と言いますが、男が半分食べて差し出す分を asirpeker-epkes と言います。またこの行為を itanki arke e「椀の半分を食べる」と表現します。
- ③ 親族、来客で宴会 の手順で行いました。

本当はこの間に贈り物の交換があるのですが、私の場合はロシアで式を済ませていた後なので行いませんでした。物語や聞き取りを総合すると、結婚式の前に女が男に hos「脚絆」を、また前後何れかに男が女に鞆に美しく彫刻した makiri を贈ったようです。尚、「結婚」の意味では普通 ukor が使われますが、門野トサ媪は asirpeker という言葉を使いました。

Kampinuye 30 (Wampe etuhot) ~するでしょう、~するつもり

カンピヌイエ ワンペ エドホツ — 助動詞(3)



例文

1. A: Marku-nispa somo ipe na
マルクニシパ ソモ イベ ナ (マルクさんは食事しなかったね。)
- B: Eikos kamus kusu sattek rusuy nankor .
エイコシ カムシ クス サツテク ルスイ ナンコロ
(あまりに太っているから痩せたいんじゃない。)
2. A: An=utari iposse ku=eyaypakasnu hikeka
アヌタリ イポッセ クエヤイパカシヌ ヒケカ (アイヌ語を勉強しても)
- pirkano ku=ye eaykap ruwe ne .
ピリカノ クイエ エアイカブ ルウェ ネ 上手く話せません。)
- B: Tane e=easkay nankor na .
タネ エエアシカイ ナンコンナ (すぐそれが上手になるでしょうよ。)
3. A: Nisatta Otasut ene ku=oman kusune na .
ニサッタ オタスツ エネ クオマン クスネ ナ (明日 銭函へ行くつもりだよ。)
- B: Imoka ne nepka es=kor wa hosippa ?
イモカ ネ ネпка エシコラ ホシツパー (お土産に何か持って帰る?)
- A: Teeta wano Otasut otta asur as pe surku ne korka ...
テエタワノ オタストツタ アスラシペ スルク ネ コロカ
(昔から 銭函で有名なものといえば トリカブトの根だけど...)
- B: Paw! Eneampe ku=konusuy ka somo ki!
パーウ エネアンペ クコンルスイ カ ソモ キ (何それー! そんなもん欲しくない。)
- A: Atuysam ta nepka cep pirkap ku=hok kusune kusu
アトイサムタ ネットパ チェブ ピリカブ クホク クスネ クス
(浜で何か魚の良いのを買って来るから)
- suke kusu an pe e=hok nankor .
スケ クス アンペ エホク ナンコロ 料理の材料をお前は買うんだ。)



単語

| アイヌ語 | | 品詞 | 日本語訳 |
|-------------|---------|------|--------------------------------------|
| asur | アスル | 名詞 | 噂、知らせ、情報 ※ asur as (アスラシ) 噂になる、有名である |
| atuysam | アトイサム | 場所名詞 | 海辺、海岸 |
| eikos | エイコシ | 副詞 | あまりに |
| eneampe | エネアンペ | 名詞 | そんなもん、あんなもん |
| eyaypakasnu | エヤイパカシヌ | 他動詞 | (新語) ~を学ぶ |
| hikeka | ヒケカ | 接続助詞 | (多くは逆接の意味で) ~ (し) ても |
| imoka | イモカ | 名詞 | 土産 |
| kamus | カムシ | 自動詞 | 太る、太っている |
| konusuy | コンルスイ | 他動詞 | ~が欲しい |
| kusune | クスネ | 助動詞 | ~(する)つもり |

| アイヌ語 | | 品詞 | 日本語訳 |
|--------|------|---------|-------------------------------|
| nankor | ナンコロ | 助動詞 | ①~(する)でしょう ②~(する)のだ |
| ne | ネ | 後置副詞 | ~として、~に |
| nepka | ネпка | 不定代名詞 | 何か |
| otasut | オタスツ | 固有名詞:地名 | 現在の後志支庁小樽市銭函から石狩大浜ぐらいまでの海岸部の名 |
| sattek | サツテク | 自動詞 | 痩せる、痩せている |
| surku | スルク | 名詞 | トリカブトの根、及びそれから採る毒 |
| wano | ワノ | 後置詞 | ~から ※teeta wano (テエタ・ワノ) 昔から |



今日の学習

1. 助動詞 nankor について
不確実な事柄について推測をして「~だろう」と言う時、nankor を用います。
例文1の「... sattek rusuy nankor .」 「...痩せたいんじゃないの」、
例文2の「... e=easkay nankor na .」 「...それが上手になるでしょうよ」
がそれに当たります。
例文1では、現在の事柄に対する推測ですが、例文2では未来に対する推測です。特に未来に起こる事は誰も正確には知りえませんから、自然とこの nankor が多く用いられる事になります。
ところで、例文3に「... e=hok nankor .」 「...をお前は買うんだ」という表現があります。これは直訳すると「...をお前は買うだろう」で、予測の形をとった一種の命令の表現です。名家である空知家本家の出身である門野トサ嬬は、これを終助詞 ya、yan を用いた表現より丁寧としました。多くの用例では、神や年長者、上位の者が下位の者に言う場合に用いられており、名家の者が使う表現という意味で上品ではあるのですが、使われた方は不快を感じる場合があったかも知れません。但し、空知方言の場合は、神への祈りの中でもこれが用いられている事から、空知方言としては上からの物言いではなかったとも考えられます。
尚、この nankor は、よく終助詞 na と共に用いられますが、その際、通常の早さの発音では「ナンコンナ」となる事が多いので注意して下さい。
2. 助動詞 kusune について
話し手の意志を表わし「~(する)つもり」と表現する時に kusune を用います。
この言葉も終助詞 na と用いられる事が多いのですが、
例文3に「... ku=hok kusune kusu ...」とあるように、接続助詞の直前では na を用いる事はできませんので注意して下さい。



もっと知りたい

例文2に surku が話題となっています。鉄砲が普及するまでアイヌは弓で狩をしたのですが、その矢毒として生活必需品でした。クマを獲る場合には、毒矢が命中しても毒がまわって倒れるまでに時間がかかりました。当然、クマは怒って襲いかかってきます。人間はクマが倒れるまで逃げねばなりません。足の速さは勿論の事、毒の効き目が生死を分けます。それで、昔の人達は surku にこだわりました。有用か無用か、あるいは有用でもその特質によって細かい分類をしていました。良い surku は、何処でも手に入るものではなかったようで、石狩川筋とその周辺では、現在、空知支庁の深川市の辺りと例文にも出てきた小樽市の銭函のものが最良とされました。これらは地元のもののみならず、深川市のもので天塩アイヌが、銭函のものを日高アイヌがわざわざ採りに来たそうです。単に材料としてだけではなく、後で使うため庭に植えていたと言います。

surku は、それ単体で用いるのではなく、その働きを助けるとされる物と調合しました。何を調合するのかは家ごと、人ごとの秘伝とされました。旭川では砂沢クラ嬬の著作から、worop 「トビケラの一種の幼虫」を用いた事が分ります。また、旭川の木村徳一氏に猟を仕込まれた私の叔父によれば、amitanne 「足の長いクモの一種」ともう一種の何かを調合するそうです。また、杉村キナラブク嬬伝承の神謡によれば unkotuk 「松脂」も用いた事が伺えます。尚、この神謡によれば surku は女神、unkotuk は少年神です。



例 文

1. A: Cise es=kar wa es=okere ya ?
チセ エシカラ ワ エシオケレ ヤ (あなた達 家を建ててしまったのかい?)
B: Numan cisekar=as okere .
ヌマン チセカラシ オケレ (昨日 私達は家を建て終わりました。)
: Nisatta cisenomi=as kusu ek wa en=kore ya!
ニサッタ チセノミアシ クス エク ワ エンコレ ヤー (明日 新築祝いをするから来てちょうだいね。)
2. A: Es=kor katkemat es=asinke wa asin wa isam hawe ?
エシコロ カツケマツ エサシンケ ワ アシン ワ イサム ハウエ (あなた奥さんを追い出して 彼女出て行ってしまったってかい?)
B: Somo! Wenrusuy=as ayne ikesuy wa oarisam .
ソモー ウェンルスイアシ アイネ イケスイ ワ オアリスアム (違う。いらぬ貧乏した末に あいつは怒って出て行ってしまったんだ。)
3. A: Inonnoytak otta “an=kor rok kotan”, sekor an iposse an korka
イノンノイタク オッタ アコンロツコタン セコラン イポッセアン コロカ (祈りの言葉に “an=kor rok kotan” っていう表現があるけれど
itakipe ku=erampetek ruwe ne .
イタキペ クエランペテク ルウェ ネ 意味が分かりません。)
B: “Teeta an=kor rok pe, tane an=sak”, sekor an pe ne .
テエタ アンコンロツペ タネ アイサク セコランペ ネ (昔 自分達のものだったが、今は違う) っていう事だ。)
A: Ku=erampetek! A kur sinen ka isam ruwe ne na .
クエランペテク アクル シネン カ イサム ルウェ ネ ナ (分かんないなー。座ってる人は一人もいないですよ。)
B: Teeta an=kor korka tane an=sak .
テエタ アンコロ コロカ タネ アンサク (昔 自分達のものだったけれど今は違う。)
A: Tane ku=eraman. Iyayraykere .
タネ クエラマン イヤイライケレー (今 分かりました。有難うございます。)



単 語

| アイヌ語 | | 品詞 | 日本語訳 |
|------------|---------|------|-------------------|
| a | ア | 自動詞 | 座る(複数形は rok) |
| asin | アシン | 自動詞 | 出る(複数形は asip) |
| asinke | アシンケ | 他動詞 | ~を出す(複数形は asipte) |
| ayne | アイネ | 接続助詞 | ~(した)末、~(した)あげく |
| cisekar | チセカラ | 自動詞 | 家を建てる |
| cisenomi | チセノミ | 自動詞 | 新築祝いをする |
| ikesuy | イケスイ | 自動詞 | 腹を立てて去る |
| inonnoytak | イノンノイタク | 名詞 | 祈りの言葉、祈詞 |

| アイヌ語 | | 品詞 | 日本語訳 |
|----------|--------|----------|------------------------|
| iposse | イポッセ | 名詞 | 表現 |
| isam | イサム | 自動詞 | いない、無い |
| itakipe | イタキペ | 名詞 | 言葉の意味、言葉の内容 |
| kar | カラ | 他動詞 | ~をつくる |
| oarisam | オアリスアム | 自動詞 | 全くいない、全く無い |
| okere | オケレ | ①他動詞②助動詞 | ①~を終える ②~を終える、~(して)しまう |
| rok | ロク | 助動詞 | ~(し)た(単数形は a) |
| sak | サク | 他動詞 | ~を持たない |
| wenrusuy | ウェンルスイ | 自動詞 | いらぬ貧乏をする |



今日の学習

1. okere について

okere は「~を終える」という意味の言葉ですが、例文1の“Cise es=kar wa es=okere ya?”の様に他動詞として先行する文を受け「それを終える」と表現する場合と、同じ例文の“…cisekar=as okere.”の様に助動詞として直前の動詞と共に「~(し)終える」と表現する場合があります。これらはよく「~(し)てしまう」と和訳されます。

2. wa isam について

何らかの動作や状態の結果「いない」、「無い」という事を表わして、例文2のように動詞句の後に wa isam の形を用います。

また、「全く無い」、「全くいない」と強調したい場合は isam の代わりに、例文にも出てきた oarisam を用います。*注ですから、例文2の“…asin wa isam …”は「…出て行っていなくなった…」という意味ですが、普通「…出て行ってしまった…」と和訳されます。


先に学んだ okere も「~(し)てしまう」でしたが、日本語ではこの様に一つの表現でも、アイヌ語では別々の表現になりますから注意が必要です。

*注 発音は「オアリスアム」の他「オアラ・イサム」、「オワラ・イサム」、「オワリスアム」などが聞かれます。

3. 助動詞 a と rok

二つの異なる時間中の動作や状態において、過去の行動や状態をはっきりさせるために用いられるのが、助動詞 a (単数形)と rok (複数形)です。「~(し)た」と訳されますが、例文3の“an=kor rok …”は単に「私達が持っていた…」という事だけではなく、暗に「現在は持っていない」という事も示しています。実際の用例では、こういった逆説的展開を示す場合がほとんどで、a p や rok pe は「~(し)たのだが~」という意味で接続助詞的に用いられ、a korka などの様に逆説の意味を持つ接続助詞と共に用いられます。

尚、例文3には、この助動詞の a を「座る」という意味の自動詞 a と勘違いしている場面がでてきますが、単数形、複数形 共に形は一緒でも全く別のものである事を理解して下さい。



石狩紀行(14)一雨竜

アイヌ語 Uriw は、現在の空知支庁内を流れる石狩川で二番目に長い支流「雨竜(うりゅう)川」とその流域を指します。流路延長155kmに及び、流域には幌加内町、深川市、沼田町、北竜町、秩父別町、雨竜町、妹背牛町といった地方自治体があります。語源については諸説がありますが、古くからアイヌにとってもはっきりしなかったらしく、松浦武四郎は「大古神が号け玉ひしと云伝え。訳語相分り申さず候」と記しています。現在、確認できるアイヌ語資料でも Uriw の形しか確認されていません。

さて、神居古潭より下流、現在 中空知 と呼ばれる辺りに住むアイヌを paniunkur と呼びますが、その中でも空知川、徳富川を中心とする sorapciunkur と この雨竜川筋のアイヌは親しく交わりながらも独自の集団と意識していたようです。江戸時代にこの川筋は石狩十三場所のうち「シノロ場所」とされ、文化6(1809)年には尚138人の人口がいましたが、松浦氏が訪れた安政4(1857)年には人別帳上の9軒38人中の大半が他所の者の名で、かろうじて生存していた者達もほとんど石狩浜に下げられている有様でした。その後の和人による侵略によって、この地のアイヌの暮らしは壊滅しましたが、杉村キナラブク嬬などの優れた伝承者によって残された言語や文化が、これからの若者達の意志と結びつき、やがて先祖の雪辱を晴らす日がきっと来るでしょう。



例文

1. A: Kusus ene hempar e=oman?
クスレネ ヘンバラ エオマン (釧路へは何時行くの?)
B: Oyasim ku=oman wa Yae-nispa otta ku=rewsi kusune na.
オヤシム クオマンマ ヤエニシパ オッタ クレウシ クスネ ナ
(あさって行って 八重さんの所に泊まるつもりだよ。)
2. A: Hepak to e=rewsi?
ヘンパット エレウシ (何日泊まるの?)
B: Na somo ku=urenkare korka tuto reto siran kor
ナ ソモ クウレンカレ コロカ ドト レト シラン コロ
(まだ決めてないけれど 二日、三日したら
ku=hosipi nankor.
クホシピ ナンコロ 帰るだろう。)
3. A: Hepakiw e=tura oman?
ヘンパキウ エドラ オマン (何人 あなたと行くの?)
B: Kuani patek sinenne ku=oman.
クアニ パテク シネンネ クオマン (俺だけ一人で行く。)
4. B: Kampisos en=erusa a p, ohonno ku=hosipire ka somo ki no
カンピソシ エネルサ アッ オホンノ クホシピレ カ ソモ キ ノ
(以前 彼は本を俺に貸してくれたんだが、長いこと返しめせずに
ku=an pe ne kusu ku=koroman yakeas.
クアンベネ クス クコロマン ヤケアシ いたので 返さなけりゃならない。)
- A: Hepakpe e=etun?
ヘンパツペ エドン (何冊借りたの?)
B: Arwampe.
アラワンペ (7冊)



単語

| アイヌ語 | | 品詞 | 日本語訳 |
|----------|-------|---------|------------------|
| erusa | エルサ | 他動詞 | (そのまま返せるもの)を~に貸す |
| etun | エドン | 他動詞 | (そのまま返せるもの)を借りる |
| hepak | ヘンパク | 連体詞:疑問詞 | 幾つの~ |
| hepakiw | ヘンパキウ | 代名詞:疑問詞 | 何人 |
| hepakpe | ヘンパクペ | 代名詞:疑問詞 | 幾つ、何個、何匹 など |
| hempar | ヘンバラ | 副詞:疑問詞 | 何時 |
| hosipire | ホシピレ | 他動詞 | ~を返す |
| kor | コロ | 接続助詞 | ~(する)と |
| koroman | コロマン | 他動詞 | ~を持って行く |

| アイヌ語 | | 品詞 | 日本語訳 |
|----------|-------|---------|----------------|
| Kusus | クスル | 固有名詞:地名 | 釧路 |
| oyasim | オヤシム | 副詞 | あさって |
| patek | パテク | 後置副詞 | ~だけ |
| reto | レト | 場所名詞 | 三日 |
| rewsi | レウシ | 自動詞 | 泊まる、滞在する、夜を明かす |
| siran | シラン | 完全動詞 | (時が)たつ |
| tuto | ドト | 場所名詞 | 二日 |
| urenkare | ウレンカレ | 他動詞 | ~を決める、~を解決する |
| yakeas | ヤケアシ | 助動詞 | ~(し)なければならない |



今日の学習

1. hempar について
「何時」を意味して用います。人によっては hempara の形も使うようです。
尚、「何時から」、「何時まで」という尋ね方については目下不明です。
2. hepak について
「幾つの」という意味で名詞などと用います。
「何人」、「何個」に関してはテキストVol. 1のkampinuye7で学んだ数詞と同じ扱いで、接尾辞 iw によって hepakiw が、形式名詞 pe によって hepakpe が作られています。

*お詫び

テキストVol. 1では、nep と nen を「名詞」としていましたが、これは「代名詞」の誤りです。学習者諸賢の前に深くお詫び申し上げます。



もっと知りたい

今回、「貸す」、「借りる」、「返す」といった表現が出てきました。

アイヌ語では貸し 借り されるものによって、日本語にはない他動詞の使い分けをします。つまり、

① 道具などの様に「そのまま返せるもの」

| | | |
|--------|------|--------|
| erusa | エルサ | ~を~に貸す |
| eirusa | エイルサ | ~を貸す |

| | | |
|------|-----|-------|
| etun | エドン | ~を借りる |
|------|-----|-------|

② 金銭や食糧のように消費してしまい、「別なもので返すもの」

| | | |
|----------|-------|--------|
| esoseyar | エソセヤラ | ~を~に貸す |
|----------|-------|--------|

| | | |
|-------|-----|-------|
| esose | エソセ | ~を借りる |
|-------|-----|-------|

です。例文中では①に該当する表現でした。

尚、二風谷の萱野茂氏の著書「妻は借り物」で有名になった etun ですが、石狩方言でも例えば sine menoko etun 「一人の女性をもらう」という表現があります。但し、これは「誰かのために第三者が縁談をまとめる」という場合に用いられるだけで、自分が結婚する当事者の場合には sine menoko kor と kor を用いるので注意が必要です。



例文

1. A: 学校 otta 晴道くん ipakasnukur orwa an=otuwasi hawe?
オッタ イパカシヌクル オロワ アノドワシ ハウエ
(学校で晴道君が先生にほめられたって?)
- B: An=utari iposse pirkano eraman kusu an=otuwasi hawe ne wa.
アヌタリイポッセ ピリカノ エラマン クス アノドワシ アウエネ ワ
(アイヌ語をよく知ってるから ほめられたんだってさ。)
2. A: Tane anakne 学校 otta ka an=utari iposse an=eipakasnu ruwe?
タネ アナクネ オッタ カ アヌタリイポッセ アネイパカシヌ ルウエ
(今は学校でも アイヌ語が教えられてるのかい?)
- B: Somo.
ソモ (いいえ。)
- : アイヌ anakne tan Yaunmosir ta hoski wano okay utar ne
アナクネ タン ヤウンモシッタ ホシキ ワノ オカイ ウタラ ネ
(アイヌはこの北海道の先住民族だ
yak a=ye yakka Yaunmosir ta ne yakka somo an=eipakasnu.
ヤカイエ ヤッカ ヤウンモシッタ ナッカ ソモ アネイパカシヌ
と言われるけれど 北海道であっても教えられてない。)
3. A: ... korka tane tonu utar ne yakka an=utari-nispa utar ne yakka
コロカ タネ トノ ウタンナッカ アヌタリニシパ ウタンナッカ
(...けれど和人の偉い方々も アイヌの立派な方々も
arikiki kusu nep ne yakka an=pirkare nankor.
アリキキ クス ネブ ナッカ アンピリカレ ナンコロ
頑張ってるから 何でも良くしてもらえましょう。)
- B: Neno an=eisokor hawe ne na.
ネノ アネイソコロ アウエネ ナ (そんな風に信じられてるみたいだね。)
- : Korka nepka an=ahupkar pe somo an=cipacipa no
コロカ ネブカ アフブカラベ ソモ アンチパチパ ノ (けれど何か貰えるものを期待せずに
yaykata nep ne yakka an=uyna yakeas. Arikiki=an ro!
ヤイカタ ネブ ネ ヤッカ アヌイナ ヤケアシ アリキキアン ロー
自分達で何でも手に入れるべきよ。頑張りましょう。)
- A: Arikiki=an ro!
アリキキアン ロー (頑張りましょう。)



単語

| アイヌ語 | 品詞 | 日本語訳 |
|-----------|--------|------------------------|
| ahupkar | アフブカラ | 他動詞 ～を貰う |
| cipacipa | チパチパ | 他動詞 ～を期待する、～を欲しいと思う |
| eipakasnu | エイパカシヌ | 他動詞 ～を教える |


| アイヌ語 | 品詞 | 日本語訳 |
|-----------|--------|--------------------------------------|
| eisokor | エイソコロ | 他動詞 ～を信じる |
| hoski | ホシキ | 副詞 はじめに、先に ※ hoski wano はじめから、昔から |
| otuwasi | オドワシ | 他動詞 ～をほめる |
| pirkare | ピリカレ | 他動詞 ～を良くする |
| uyna | ウイナ | 他動詞 ～を手に入れる、～を取る、～を奪う(単数形は uk) |
| Yaunmosir | ヤウンモシリ | 固有名詞:地名 北海道(注:石狩方言の用例では本州東北部も含む) |
| yaykata | ヤイカタ | 副詞 自分で |



今日の学習

1. 受け身の表現について
これまでは「話し相手を含む私達が」という意味の人称接辞 an = について、その用法を学びましたが、それとは別に「特定しないある人が」という意味の用法があります。例文1の最初の文を詳しく見てみると、
学校 otta 晴道くん ipakasnukur orwa an=otuwasi hawe?
他動詞 otuwasi 「～をほめる」の目的語は「晴道くん」、主語は an = 「特定しないある人」です。和訳する場合には、「～が～される」、つまり「晴道くんがほめられた」とするため、受け身の表現とも呼ばれます。「ある人」は誰かという事を示したい場合には orwa を使います。上の文では ipakasnukur 「先生」がそれに当たります。
2. 「何か」と「何でも」
例文3にある nepka は Kampinuye 30 に既に出てきましたが、「何か」という意味でした。この様にこれまで学習してきた様々な 疑問詞+副助詞 ka で 特定できない、あるいは特定したくない事柄を表わす事ができます。つまり nenka 「誰か」、neytaka 「何処にか」、nekonka 「どの様にか」、hemparka 「何時か」などです。これらに対し nep ne yakka 「何でも」のように、任意の事柄は 疑問詞 + ne yakka で表わします。
3. 発音の注意
例文2、3で ne yakka が「ナッカ」と発音されました。これは早口のため「ネヤッカ」の音が縮まったものです。現在まで確認されている事実によれば、神居古潭を境にして、上流の上川出身者は どれ程早口でも ne yakka はそのまま「ネヤッカ」と発音します。それに対し下流の空知出身者は それ程早口でなくとも「ナッカ」と発音する事が多いのです。

石狩紀行(15)一空知川



上ホロカメツク山を水源とする Sorapci 「空知川」は、流路延長194.5 kmにも及ぶ石狩川最大の支流で、現在その流域には上川支庁の南富良野町、富良野市、中富良野町、及び空知支庁の芦別市、赤平市、滝川市、砂川市といった地方自治体があります。現在の芦別市にある空知大滝周辺の地形に由来し、so-rap-ci 「滝・複数落ちる・群在、継起の接尾辞」という解釈で一致しているようです。

空知川を生活圏とする者達の村は、この川の河口付近と石狩川を挟んで対岸の徳富川河口付近にありました。その村はアイヌ語で Tokkotan あるいは Tukkotan と呼びましたが、そこに住む者は皆空知川を誇りにし、sorapciunkur 「空知アイヌ」と自称しました。先に述べたように、流域の長さの割に村の所在地が偏っているように思えますが、これは村といっても日本の農村とは異なり、住民は始終そこにいる訳ではなく、春から秋にかけて各家のイラロに出かけては生活し、冬になると皆が村で越冬していたためです。冬の積雪が多いこの地方に住んでいると、その道理がよく分かります。また、空知地方は石狩川の上流方面からやってくる十勝アイヌの topattumi を恐れ、空知大滝より上流へは滅多に行かなかったと言います。江戸時代、松前藩に対して独立を宣言した上の国惣大将ハウカセの根拠地がこの辺であったと伝えられていますから、武力に劣るとも思えません。サケ、マスも空知大滝より上には遡上できなかったそうなので、わざわざ行く必要がなかったと思われる。それよりも大陸と交易している留萌や浜益など海岸部に積極的に赴いていたようです。特に浜益とは婚姻関係などを通じて親しく行き来していたと言います。

かつて隆盛を極めた空知アイヌも、幕末期の過酷な境遇によりその数を減らし、明治になってから、左岸方面も農地として和人による収奪を受けました。以降戦後になってもアイヌに対する認識が最も希薄で、それに対する施策の立ち遅れた地域として今に至っております。



例文

1. A: Ku=cisekohosipi ruhontom ta
クチセコホシピ ルーホントム タ (家に帰る途中)

ku=eramuskare acapo orwa topempe enci=kore .
クエラムシカレ アチャボ オロワ トーベンペ エンチコレ
知らないおじさんが 僕にお菓子くれた。

B: E=eramuskare kur nepka e=kore yakka ecikki e=uk ya!
エエラムシカレクル ネプカ エコレ ヤッカ エチツキ エウク ヤー
(知らない人が何かくれても 絶対もらってはだめでしょ。)

2. A: Nep ne yakka unci=kouk wa unci=okewe korka nea utar
ネプ ネ ヤッカ ウンチコウクワ ウンチオケウエ コロカ ネアウタラ
(私達は何もかも奪われて 追い出されたけれどあいつらは

puspe kor wa ene ci=kar hi ka isam kusu yaysiporore=as .
プシペ コロ ワ エネ チカリ カ イサム クス ヤイシポロレアシ
鉄砲を持っているから どうしようもないので 我慢している。)

B: Wenkewtumkorpe inne yakka hawsak=an yak wen na!
ウエンケウドムコロベ インネ ヤッカ アウサカナク ウエン ナー
(悪い奴が大勢であっても 黙ってはいけないぞ。)

3. A: Neno iki=as yakun nani unci=rayke na!
ネノ イキアシ ヤクン ナニ ウンチライケ ナ
(そんな風にしたら 私達は直ぐ殺されてしまうよ。)

B: Hawsak=an yakka i=rayke=an na! Uramkopaste=an kusune na!
アウサカナツカ イライケアン ナ ウラムコパシテアン クスネナ
(黙ってたって私達は殺されるんだぞ。団結しようではないか。)



単語

| アイヌ語 | | 品詞 | 日本語訳 |
|--------------|--------|-----|---------------|
| acapo | アチャボ | 名詞 | おじさん |
| cisekohosipi | チセコホシピ | 自動詞 | 家に帰る |
| hawsak | ハウサク | 自動詞 | 黙る |
| inne | インネ | 自動詞 | 大勢である、人が多い |
| kouk | コウク | 他動詞 | ～から～を奪う |
| nani | ナニ | 副詞 | (～して)直ぐ |
| okewe | オケウエ | 他動詞 | ～を追い出す、～を追い払う |

| アイヌ語 | | 品詞 | 日本語訳 |
|----------------|------------|------|-------------------|
| puspe | プシペ | 名詞 | 鉄砲 |
| rayke | ライケ | 他動詞 | ～を殺す |
| ruhontom | ルーホントム | 場所名詞 | 途中 |
| uk | ウク | 他動詞 | ～を受け取る(複数形は uyna) |
| uramkopaste | ウラムコパシテ | 自動詞 | 団結する |
| wenkewtumkorpe | ウエンケウドムコロベ | 名詞 | 悪い奴 |
| yakun | ヤクン | 接続助詞 | ～(する)なら |
| yaysiporore | ヤイシポロレ | 自動詞 | 我慢する |



今日の学習

- enci=、unci= について
前回、「特定しないある人が」という意味の人称接辞 an= を用いたアイヌ語文が日本語の「～が～された」という受け身に訳される事を学びました。
同じく「私が～される」、「話し相手を含まない私達が～される」とよく訳される形式として、石狩方言では 先の意味で enci=、あとの意味で unci= があります。
例文中の unci=kouk、unci=okewe、unci=rayke が、それぞれ「私達は～を奪われた」、「私達は追い出された」、「私達は殺された」と訳されています。けれど enci=kore は「僕に～をくれた」となっています。このように受け身の意味だけに訳される訳ではない事を覚えましょう。
尚、例文3に i=rayke=an という形が出てきますが、これは「話し相手を含む私達が殺される」と訳されるものです。i= は「話し相手を含む私達を」という人称接辞で、他動詞 rayke を挟んで後ろに付いているのが「特定しないある人が」という意味の =an です。人称接辞を二つ使った変化形は複雑なので、別の課で詳しく解説します。ここでは「話し相手を含む私達が～される」は、こういう形になるという事だけ覚えて下さい。
- ene ci=kar hi ka isam について
Kampinuye27の今日の学習2で、副詞 ene が様々な慣用表現を作ると述べました。
今回、例文2に出てきた表現もその一つで、ene 人称接辞 + kar hi ka isam 「どうしようもない」、「仕方ない」という意味になります。
- wenkewtumkorpe について
wenkewtumkor は「悪い心を持っている」という意味の自動詞ですが、それと共に用いられている p、pe は「物、事」の意味で用いられる事が多い形式名詞です。人を表わしたいのなら、普通は同じ形式名詞でも kur が用いられるのですが、例文のように誰かを貶める悪口の言葉として、人に対しても pe が用いられます。
他には、例えば irayke 「人を殺す」と、iraykekur で「殺人者」といった言葉になり、iraykep であれば「人殺し」という悪い言葉となります。
こういった言葉は謙譲の表現としても使用者自身に関して、例えば pewrep ku=ne 「私は若造です」のように用います。また年少者に関する言葉にも pe が用いられてますが、これは悪口ではありません。この他にも単に「～(する)者」という悪口でも何でもありません。これらの煩雑さを避けるためか、特に旭川方言の日常語では pe の代わりに ampe (単数)、okaype (複数)を用いて悪口の言葉を作ります。



もっと知りたい

uramkopaste は、私が最も好きなアイヌ語の一つです。言葉の成り立ちは u-ram-kopaste 「互い・心・を～に走らせる」で、「心を通い合わせる」が直訳ですが、アイヌ語の意味と日本語がしっかりこないので、例文中では「団結する」と訳しました。

用例としては、ユカラの中で英雄ポイヤユンベが戦友に
Suy neywaka tumi ek anakne uramkopaste=an kusune na!
「また何処からか敵がやって来たら心を一つにして戦おうよ！」
と語りかける際に用いられます。かつてはユカラを謡った人も聞いた人もこの言葉に奮い立ち、正に「心を通い合わせる」
投げ所とした事でしょう。

時は流れ、ユカラを文学とか芸能程度にしか理解しなくなった現在、uramkopaste も果てしない人間の欲望の前には、所詮きれいな事に過ぎないのでしょか。

Nekon Ceprur An=kar チェブルルの作り方
ネコン チェブルル アンカラ

Suke kusu an pe

スケ クス アンペ 食材

- cep チェブ サケ
- rataskep ラタシケブ 野菜 (karus, imo, 人参, 大根, 玉ねぎ, 長ねぎ, 白菜)
カルシ イモ ※単語表参照
- sat kompu サッコンプ 乾燥昆布
- sippo シッポ 塩

Nekon an=kar

ネコン アンカラ 作り方

- ① Wakka o su oske sat kompu an=omare wa an=okaoatte.
ワッカオ ス オシケ サッコンプ アノマレ ワ アノカオアッテ
(水が入った鍋に 乾燥昆布を入れて 火にかける。)
- ② Cep an=kar wa pirkano an=huraye.
チェブ アンカラ ワ ピリカノ アヌライエ (サケをさばいて きれいに洗う。)
(Cepsapa somo an=osura no mimi an=suwe hi ta turano an=suwe.)
チェブサパ ソモ アノスラ ノ ミミ アイスウエ イ タ ドラ アイスウエ
(魚のアラは捨てずに 魚肉を煮る時に それと一緒に煮る。)
- ③ Rataskep an=tuypa usa an=humpahumpa usa an=ki.
ラタシケブ アンディバ ウサ アンフンパフンパ ウサ アンキ
(野菜を切ったり 刻んだりする。)
- ④ Su ci yakun karus 人参 大根 玉ねぎ 長ねぎ an=omare.
ス チ ヤクン カルシ アノマレ
(湯が沸いたら キノコ、人参、大根、玉ねぎ、長ねぎを入れる。)
- ⑤ Ponno siran kor imo 白菜 an=omare.
ポンノ シラン コロ イモ アノマレ
(少ししたら ジャガイモ、白菜を入れる。)
- ⑥ Rataskep ci yakun an=tuypa cep an=omare.
ラタシケブ チ ヤクン アンディバ チェブ アノマレ
(野菜が煮えたら 切り身のサケを入れる。)
- ⑦ Kera an=pirkare kusu sippo an=omare.
ケラ アンピリカレ クス シッポ アノマレ (味を調えるため 塩を入れる。)



単語

| アイヌ語 | | 品詞 | 日本語訳 |
|------------|--------|------|---------------------------------|
| an= | アン | 人称接辞 | 人が ※今日の学習参照 |
| cep | チェブ | 名詞 | サケ |
| ceprur | チェブルル | 名詞 | サケのお汁 |
| cepsapa | チェブサパ | 名詞 | 魚のアラ(注:本来「魚の頭」の意味で、その意味で用いられる。) |
| ci | チ | 自動詞 | 火が通る、煮える、焼ける |
| humpahumpa | フンパフンパ | 他動詞 | ～を刻む |
| huraye | フライエ | 他動詞 | ～を洗う |
| imo | イモ | 名詞 | ジャガイモ |
| kar | カラ | 他動詞 | ①～を作る、②(魚)をさばく |
| karus | カルシ | 名詞 | キノコ |
| kera | ケラ | 名詞 | 味 |
| kompu | コンプ | 名詞 | 昆布 |
| mimi | ミミ | 名詞 | ～の魚肉(概念形は mim) |
| o | オ | 他動詞 | ～に入っている |
| okaoatte | オカオアッテ | 他動詞 | (鍋)を火にかける |
| omare | オマレ | 他動詞 | ～に～を入れる |
| oske | オシケ | 位置名詞 | ～の中 |
| pirkare | ピリカレ | 他動詞 | ～を良くする(注:この課では「(味)を調える」の意味に転用) |
| rataskep | ラタシケブ | 名詞 | 山菜、野菜の類 |
| sat | サツ | 自動詞 | 乾く、乾いている |
| sippo | シッポ | 名詞 | 塩 |
| su | ス | 名詞 | 鍋 |
| suwe | スウェ | 他動詞 | ～を煮る |
| tuypa | トイパ | 他動詞 | ～を切る(単数形は tuye) |
| wakka | ワッカ | 名詞 | 水 |



今日の学習

1. 動作主を特定しない説明の表現

アイヌ語は全ての動詞が何れかの人称形です。

どういう事か ki「～をする」を例に挙げると ku=ki e=ki ki ci=ki an=ki es=ki が存在する訳です。

ku= は「私が」、e= は「お前が」、ci= は「除外形の私達が」、an= は「包括形の私達が」、es= は「お前達」、あるいは「あなたが」という意味の人称接辞ですが、これらが付かないものは「彼、彼女、それ、彼等、彼女等、それ等が」という三人称の意味になる事をこれまで学んできました。

しかし、実際に言葉を使う際、どの人称でもない一般的な動作として「～をする」を使わねばならない場合があります。例えば、アイヌ語で「～をする」は何と言うか聞かれた場合 ki と答えてしまうと、先程確認した三人称の意味になってしまいます。こういう場合には、kampinuye 33 で学んだ「特定しない誰か」という意味の人称接辞 an を用いて、an=ki と答えねばなりません。これは単語や表現の説明だけではなく、今後は例文にあるような様々なレシピ、マニュアルの中で頻繁に目にする事と思います。

尚、これまで an は他動詞の語頭にに付く形のみ出てきましたが、自動詞にも付きます。その際には例えば、itak=an「話す」のように語尾に付きます。また、単数形、複数形があるものは rok=an「座る」のように複数形になります。

Opittano upopo=an ro ! みんなで歌いましょう
オピッタノ ウポポアン ロー

今回は、旭川の親子アイヌ語教室のちびっ子達と一緒に楽しく歌って、アイヌ語を覚えましょう。現在、「大きな古時計」で一般に知られているアメリカ人ヘンリー・クレイ・ワーク作詞、作曲の My Grandfather's Clock をアイヌ語で歌います。ただし原歌詞を直訳しても歌えませんが、昔の文化的背景を織り込んで歌詞は少し変えています。また、今回ご紹介するのは二番までです。



Ku=kor ekasi kor tokey
クコロ エカシ コロ トケイ
Eikos keweri wa onne .
エイコシ ケウエリ ワ オンネ
“Tan kotan ta ku=siko hi ta
タン コタンタ クシクオ イ タ
Ip an=hok tokey ne .”,
イパンホク トケイ ネ
Sekor itak kor reki rarapa kor
セコリータツコロ レキ ララバ コロ
Otuwasi a tokey ne .
オドワシア トケイ ネ
Tane anakne nea tokey
タネ アナクネ ネア トケイ
Somo simoy moyke .
ソモ シモイモイケ

私のお爺さんの時計は

余りにもものっぽで古い。

「この村でわしが生まれた時に

買われた時計だ。」、

と言いながらひげをなでながら

自慢した時計です。

今はその時計は

動きません。

Wampa easiknehot
ワンパ エアシクネホツ
Ciktak ciktak
チクタク チクタク
Ekasi tokse tura
エカシ トクセ ドラ
Ciktak ciktak
チクタク チクタク
Tane anakne nea tokey
タネ アナクネ ネア トケイ
Somo simoy moyke .
ソモ シモイモイケ

90年

チクタク チクタク

お爺さんの鼓動と共に

チクタク チクタク

今はその時計は

動きません。

Ku=kor ekasi kor tokey
クコロ エカシ コロ トケイ
Nep ne yakka eraman .
ネブ ネ ヤツカ エラマン
Wampa easiknehot
ワンパ エアシクネホツ
Ramma kane
ランマ カネ
Ku=kor ekasi sikkasma .
クコレカシ シツカシマ
Ketus se menoko ek ihi ta ka
ケドシ セ メノコ エキヒ タ カ
Ciktakse simoy moyke .
チクタクセ シモイモイケ
Tane anakne nea tokey
タネ アナクネ ネア トケイ
Somo simoy moyke .
ソモ シモイモイケ

私のお爺さんの時計は

何でも知っています。

90年

いつも

私のお爺さんを見守っていました。

女の衣装入れを背負った娘が来た時にも ※1

チクタク音をたて動いていました。

今はその時計は

動きません。

※ 繰り返し

※1 歌詞の中で「女の衣装入れを背負った娘が来た」という表現がありますが、これは女性が嫁入りするところを描写しており、かつてはこの表現だけで「花嫁が来た」と理解されました。



単語

| アイヌ語 | 品詞 | 日本語訳 |
|-------------|--------|--|
| ciktak | チクタク | 擬声語 (新語) (時計の音) チクタク |
| ciktakse | チクタクセ | 自動詞 (新語) チクタク音をたてる |
| eikos | エイコシ | 副詞 あまりに |
| hi | ヒ | 形式名詞 時 |
| ihi | イヒ | 形式名詞 時 |
| ip | イブ | 虚辞 韻文で音節数を整えるため用いられる意味のない言葉。石狩方言では句頭が人称接辞 an= で始まる時に多く用いられる他、原則として語頭が母音 a の場合に用いられる。 |
| ketus | ケドシ | 名詞 女性の衣装入れ |
| otuwasi | オドワシ | 他動詞 ~を誇りに思う、~を自慢する |
| ramma kane | ランマ・カネ | 副詞 いつも |
| rarapa | ララパ | 他動詞 ~を撫でる、~を撫でさする |
| reki | レキ | 名詞 ~の髭 (rek の所属形) |
| se | セ | 他動詞 (物)を背負う |
| sekor | セコロ | 後置副詞 (直接に引用した発話、思考等のすぐ後に用いられ) ~と |
| sikkasma | シツカシマ | 他動詞 ~を見守る |
| simoy moyke | シモイモイケ | 自動詞 動く |
| tokey | トケイ | 名詞 (新語) 時計 (注: 日本語からの借用) |
| tokse | トクセ | 自動詞 鼓動を打つ |

※ このテキストに出てくる新語とは、旭川親子アイヌ語教室における学習の便宜上、日本語から借用し、あるいは新たに作ったものです。



例文

1. E=poro yakun ne an=kotanu panake ta an kotan ekota e=san nankor.
 エポロ ヤクン ネ アンコタヌ パナケタ アン コタン エコタ エサン ナンコロ
 (お前が大きくなったら 我等の村の川下にある村に お前は下りて行くのだ。)
2. Taankur ne yak ku=etoranne.
 タアंकウル ネ ヤク クエトランネ (あの人なら嫌だ。)
3. Neno e=iki yakne hapo otta ku=ye ru un!
 ネノ エイキ ヤクネ ハポ オッタ クイエ ルウン
 (そんな事してると 母さんに言いつけるぞ。)
4. Neampe ki katu wen pe ne yakka
 ネアンペ キ カド ウエン ペ ネ ヤッカ (そいつのやった事が悪くても
 somo e=inawkar yakanakne wen kotom siran ...
 ソモ エイノウカラ ヤカナクネ ウエン コトム シラン
 イノウを作って祀らなければ 悪い事になりそうだ...)
5. E=kimatek ciki tampe e=sanke wa ene iki rusuy neno e=iki nankor.
 エキマテク チキ タンペ エサンケ ワ エネ イキ ルスイ ネノ エイキ ナンコロ
 (お前が驚いたら これを取り出して したいようにするのだ。)
6. ... haw ne ciki turaoman yakka pirka.
 アウネ チキ ドラオマナツカ ピリカ (...それならば 彼女を連れて行ったら良い。)
7. Kus pakno an=kusa yakun ci=utari usa i=rayke=an kusu
 クシ パクノ アンクサ ヤクン チウタリ ウサ イライケアン クス
 (向こう岸まで 俺達が彼を渡したら うちの一族やら殺されるから
 eyasi sirhanke ciki "etak", sekor ku=hawki ciki eyasi terke=an!
 エヤシ シリハンケ チキ エタク セコロ クハウキ チキ エヤシ テレケアン
 岸に近くなったら「それっ」と俺が言ったら 岸に跳ねよう。)
- : Cip parurke an=oterke wa cip hokus yak ekota an=rayke!
 チブ パルルケ アノテレケ ワ チブ オクシ ヤク エコタ アンライケ
 (船縁を蹴って 船がひっくり返ったら そこで彼を殺そう。)
- <話者、出典> 1~6.杉村キナラブック 7.砂沢クラ嬢「昔の話」(初稿)



単語

| アイヌ語 | 品詞 | 日本語訳 |
|------|------|----------|
| ciki | 接続助詞 | ※今日の学習参照 |
| cip | 名詞 | 船 |
| etak | 間投詞 | それっ、さあ |

| アイヌ語 | 品詞 | 日本語訳 |
|-----------|------|--------------------|
| eyasi | 副詞 | 岸に |
| hawki | 自動詞 | 言う |
| hapo | 名詞 | 母 |
| hokus | 自動詞 | ひっくり返る、倒れる |
| inawkar | 自動詞 | イノウを作って祀る |
| katu | 名詞 | ～のやり方(概念形は kat) |
| kimatek | 自動詞 | 慌てる |
| kus | 位置名詞 | ～の向こう岸 |
| kusa | 他動詞 | ～を船で渡す |
| oterke | 他動詞 | ～を踏みつける、～を蹴る |
| panake | 位置名詞 | ～の川下 |
| pakno | 後置副詞 | ～まで |
| parurke | 位置名詞 | ～の縁 |
| san | 自動詞 | 下りる(複数形は sap) |
| sanke | 他動詞 | ～を取り出す(複数形は sapte) |
| siran | 完全動詞 | 様子である |
| sirhanke | 完全動詞 | 近くなる |
| terke | 自動詞 | 跳ねる |
| turaoman | 他動詞 | (自分で歩ける者)を連れて行く |
| usa | 後置副詞 | ～やら |
| utari | 名詞 | ～の一族(概念形は utar) |
| yak | 接続助詞 | ※今日の学習参照 |
| yakanakne | 接続助詞 | ※今日の学習参照 |
| yakne | 接続助詞 | ※今日の学習参照 |
| yakun | 接続助詞 | ※今日の学習参照 |



今日の学習

1. 仮定を表す接続助詞について
 仮定を表す接続助詞はアイヌ語に幾つかありますが、基本的な用法の違いによって幾つかのグループに分ける事ができます。
- ① yak、yakne、yakanakne
 は「～(し)たら～」の意味で、何れもこれらの言葉の後に続く文は「良い事がある」、「悪い事がある」等といった価値判断が入ります。
 例文2は yak の後に「嫌だ」→「悪い」という価値判断がきています。例文3もやはり yakne の後に「母さんに言いつけるぞ」→「悪い事があるぞ」という文がきていますし、例文4は yakanakne の後が「悪い事になりそうだ」という分かりやすい例です。例文7の yak はそれに続く文が「そこで彼を殺そう」ですが、「そのようにしたら良い」という意味が含まれているものと考えられます。
- ② yakun
 も「～(し)たら～」という意味ですが、①の yak、yakne 等と異なり、「AしたらBになる」という様な価値判断抜き一般的な仮定、条件の提示を行う際に用います。
 ですから、例文1は「お前が大きくなったら→川下の村に行くのだ」という条件を提示しているだけで、良い悪いの価値判断は含まれていません。例文7も「向こう岸まで彼を渡したら→殺される」という価値判断なしの仮定であると考えられます。
- ③ ciki
 は「～(し)たら～」の意味ですが、「～しなさい」という命令、「～しよう」という勧誘の文と共に用いられます。
 例文5が命令、例文7が勧誘です。
 また、ciki は特定の慣用表現の中で用いられます。つまり例文6がそれに当たります。haw ne ciki は、相手の言った事を受けて「そう言うならば～」と言う時に用いられるものです。
 この他、「～したら～なのか？」という疑問文に関して、沙流方言などで ciki が用いられるそうです。石狩方言では Kampinuye 27 の例文中に Nekon a=ye yak pirka? 「どう言ったら良いの?」とあるとおり、yak などを用いるのですが、門野トサ嬢の用例に ipiski itak ... a=ye ciki pirka ... 「ipiski itak ... それを言ったら良い...」と疑問とも判断がつかない独り言があります。将来的には空知方言も疑問文の中では ciki とする事になるかもしれません。
 以上、説明した言葉について、実際には話者の出身地、世代などによりばらつきが見られますので、それぞれの資料に接する場合は話者ごとに用法を整理した方が良いでしょう。



例文

1. A: Es=en=kopan hawe ?
エセンコパン ハウエ (貴方 私を嫌ってるって?)

B: Ha?! Sunke hawe ne! Sonno anakne e=osikkote=an ru ne na.
ハー スンケ ハウエネ ソンノ アナクネ エオシッコテアン ルネナ
(えー。嘘だろ。本当は君にぞっこんさ。)

2. A: En=kosunke=an kusu ku=iruska wa ku=caranke kor en=kikkik=an na!
エンコスンケアン クス クイルシカ ワ クチャランケ コロ エンキツキカン ナ
(私は騙されたので 怒って抗議したら 何度も殴られたよ。)

B: Ayapo! Inunukaski! Tampe e=kore=an kusune kusu eciki cis no.
アヤポ イヌヌカシキ タンペ エコレアン クスネ クス エチキ チシ ノ
(あーっ。可哀想に。これあげるから泣かないで。)



単語

| アイヌ語 | | 品詞 | 日本語訳 |
|----------|-------|-----|---------------|
| caranke | チャランケ | 自動詞 | 抗議する、相手の非を責める |
| iruska | イルシカ | 自動詞 | 怒る、腹をたてる |
| kikkik | キツキク | 他動詞 | (何度も) ~を殴る |
| kopan | コパン | 他動詞 | ~を嫌がる、~を拒む |
| kore | コレ | 他動詞 | ~に~をあげる |
| kosunke | コスンケ | 他動詞 | ~を騙す |
| osikkote | オシッコテ | 他動詞 | ~に惚れる、~を愛する |
| sunke | スンケ | 自動詞 | 嘘をつく |

MEMO



今日の学習

1. 人称接辞の主格目的格変化

| | 私を | 私達を (除外形) | 私達を (包括形) | 君を | 君達を あなたを | 彼を (彼等を etc.) | 不特定の 誰かを |
|------------------|-------------------|-------------------|--------------|--------------------------|----------------------------|------------------|-------------|
| 私が | | | | e=・=an | es=・=an | ku=・ | |
| 私達が (除外形) | | | | e=・=an (e=・=as) 注2 | es=・=an (es=・=as) 注2 | ci=・ | |
| 私達が (包括形) | | | | | | an=・ | |
| 君が | e=en=・ | e=un=・ | | | | e=・ | |
| 君達が あなたが | es=en=・ | es=un=・ | | | | es=・ | |
| 彼が (彼等が etc.) | en=・ | un=・ | i=・ | e=・ | es=・ | φ 注3 | i=・ |
| 不特定の 誰かが | en=・=an enci=・ | un=・=an unci=・ | i=・=an | e=・=an an=e=・ | es=・=an | an=・ | i=・=an |

注1 表内の ・ は他動詞を表わす。

注2 e=・=as と es=・=as は、浅井亨先生の「アイヌ語の文法—アイヌ語 石狩方言文法の概略—」より転載したが、実例は目下未確認。

注3 人称接辞 0 の記号で、人称接辞が用いられない事を表わす。

誰が誰を、誰が誰に といった意味の主格目的格変化は、上の表に見るとおりとても複雑です。それでも「君が私を」といった二人称が主格、一人称が目的格のものについては、意味どおりに並べただけなので理解し易いはず。ところが、「私が君を」の場合は決して ku=e= とはならず、「君を」に当たる e= を他動詞の語頭に付け、「私が」は =an の形で語尾に付けます。石狩方言では、他にもこのように人称接辞を前後に振り分ける事があり、注意が必要です。理屈よりも練習を繰り返し、自然にこういった言い方ができる、あるいは聞き取れるよう頑張ってください。



練習

- 今日テキストに出てきた単語を用いて、「私が君を」、「私が君達を」、「私達が君を」、「私達が君達を」、「君が私を」、「君が私達を」、「君達が私を」、「君達が私達を」~したと言ってみましょう。
また、これまで学習した他動詞を使って、同じ事を繰り返して見て下さい。
(また、「彼が私を」~した などとも随時練習してみましょう。)
- 二人組になって、一人が身近にある物を相手に渡し、「~を私は君にあげる」と言い、もらった人は「~を君が私にくれた」と言って下さい。その後、役割を交替して同じ事を何度か繰り返し練習してみましょう。
- 同じく二人組になって一人が「私は~された」と言います。言われた人は
Nen ta e= () ?
ネン タ エ () ? 「一体誰が君を~したの」
と、() 内に ~ に当たる動詞を入れて尋ねましょう。
尋ねられた人は Kampinuye33, 34 を思い出しながら「~に~私は~された」と答えてみましょう。

来月は inomicup 「神に祈る月、1月」です。そこで今回は kamuynomi 「神への祈り」について触れたいと思います。nomi は「～に祈る」という他動詞、kamuy は「神」という意味の名詞で、それが合わさって kamuynomi 「神に祈る」という自動詞が作られています。アイヌ語では自動詞はそのままの形で名詞になりますので、「神への祈り」という意味にもなるのです。アイヌの神は、和人の神道同様に天地海洋山川の神々、人間神、動物神、道具の神などなど無数にあります。但し、神と人との関係は和人のそれとは随分ちがっています。

神への祈りには心の中で行うものと、声に出して祈りの言葉を唱えるものがあります。前者は sampenomi 「(他動詞)～に心の中で祈る」、後者は inonnoytak 「(自動詞)祈りの言葉を唱える」、koinonnoytak 「(他動詞)～に祈りの言葉を唱える」などと言います。その内容は神に対する畏怖、礼賛、懇願、感謝の言葉も多くあるのですが、何か大きな不孝があった際に、その事に関わっていたと考えられる神に対し論難、脅迫をし、謝罪、事態の改善、賠償を求めるのは和人にない発想です。これらの祈り言葉はテキストVol. 4の中で紹介していく神謡、詞曲などと同様、雅語と呼ばれる日常あまり使わないような高尚な言葉を使い、対句や常套句を駆使する特殊なものです。しかし、実際には人により、場により、いろいろなものがあったようです。

今回は日常的な祈りの例として、杉村キナラブツ嬢による祈りの言葉を聞いてもらいます。アイヌでは女性が神に祈る事がいけない事になっています。石狩の神謡の中にも menoko anak teeta wano somo ki p inonnoytak ne 「女というものが昔からしないのが祈りの言葉を唱える事だ」と言われています。しかし、嬢によれば mintarhuci と呼ばれる炉の下座の神と cisekorkamuy と呼ばれる家の神だけは、女性でも祈って良い事になっていました。この伝統は今尚旭川の女性の間に強く残っています。

ミンタラフチへの祈りの言葉

Ku=onne yakka
クオンネ ヤツカ

私が年取っていなくなっても

ne okake ta,
ネ オカケ タ

その後に

mintar kor huci,
ミンタラ コロ フチ

炉の下座の嬢

kamuy-huci,
カムイウチ

神の嬢よ

kamuy utar,
カムイウタラ

神様方よ

ku=kor sipe utar
クコロ シシペウタラ

私の子供達

ku=kor matnepo utar
クコロ マツネポウタラ

私の娘達

ku=mitpo utar
クミツポウタラ

私の孫達

opittano ratcitara
オピッタノ ラッチタラ

全員をしっかりと

onne pakno
オンネ パクノ

生きている間

ueyamno
ウエヤムノ

お互い仲良く

sukup easkay kunine
スクブ エアシカイ クニネ

暮せるように

kamuy utar
カムイウタラ

神様方

ku=nisuk hawe tapan na.
クニスク アウエ タパンナ

をお願いいたしますよ。



単語

| アイヌ語 | | 品詞 | 日本語訳 |
|-----------|-------|--------|--|
| huci | フチ | 名詞 | 嬢、尊敬される老女 |
| kor | コロ | 他動詞 | ～を司る、～を支配する |
| kunine | クニネ | 接続助詞 | ～(する)ように |
| mintar | ミンタラ | 名詞 | 炉の下座の辺 |
| nisuk | ニスク | 他動詞 | ～に頼む、～を頼る |
| okake | オカケ | 位置名詞 | (時間的な)～の後 |
| onne | オンネ | 自動詞 | 年老いる、年老いて死ぬ |
| opittano | オピッタノ | 後置副詞 | ～の全員で |
| ratcitara | ラッチタラ | 副詞 | しっかり(注:文脈上左記のように訳したが、「神様が行うような立派な、荘厳な、有難いやり方で」の意味) |
| sipe | シシペ | 名詞 | 赤ん坊 |
| sukup | スクブ | 自動詞 | 生活する、生きる |
| tapan | タパン | 副詞+自動詞 | 直訳すると「斯く有り」。雅語文の文末に用いられ格調を高める |
| ueyamno | ウエヤムノ | 副詞 | 互いに仲良く |

MEMO